



2015 年 6 月 27 日（2016 年 3 月 18 日：修正）

2015 年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

株式会社 公共経営・社会戦略研究所



2015 年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

<目 次>

図表一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1. 調査概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 調査結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2.1 回答者の属性	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2.2 「安全・安心のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2.3 「健康長寿のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2.4 「環境に優しいまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2.5 「おもてなし観光のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2.6 「交通の便利なまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
2.7 「子育てに優しいまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
2.8 「エコ農業のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
3. 参考データ	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
4. テクニカル・ノート	・・・・・・・・・・・・・・・・	43
5. 調査票	・・・・・・・・・・・・・・・・	別添

図表一覧

図1：【問2】あなたの年齢は？	5
図2：【問3】あなたの職業は？	5
図3：【問4】あなたがお住いの小学校区は？	5
図4：【問5】あなたの同居家族の構成は？	5
図5：【問6】災害時「住民同士の助け合い行動」がとれるか？	6
図6：【問7】区の防災訓練に参加したことがあるか？	6
図7：【問8】災害への備えを実践しているか	7
図8：【問9】自分が健康だと思うか？	8
図9：【問10】健康づくりの心がけ	8
図10：【問11】健康のために運動をしているか？	8
図11：【問12】その運動を継続しているか？	8
図12：【問13】一緒に健康づくりをする仲間がいるか？	9
図13：【問14】健康づくりの環境が整っていると思うか？	9
図14：【問15～19】「環境に優しいまち豊岡」についての意見	10
図15：市民の「【問16】経済感覚」に影響を与える要因	11
図16：【問20～23】「おもてなし観光のまち」についての意見	12
図17：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源は？	13
図18：【問24】観光資源の魅力順位	13
図19：豊岡は観光客で賑わうまちだ	14
図20：もっと観光客が来てほしい	14
図21：豊岡観光を勧めたい	14
図22：公共交通の利用について	15
図23：【問27】どのような公共交通が必要か？	15
図24：【問27】どのような公共交通が必要か？（複数回答）	15
図25：世代別 公共交通のニーズ	16
図26：地域別 公共交通のニーズ	16
図27：【問28】ビジネス・レジャーの主な移動手段は？	16
図28：【問29】豊岡市は子育てに優しいまちか？	17
図29：市民の子育て環境	17
図30：市民の「【問32】育児満足度」に影響を与える要因（概念図）	18
図31：【問33】食品・食材の無農薬・減農薬を意識するか？	19
図32：【問34】「コウノトリの舞」を知っているか？	19
図33：【問35】「コウノトリの舞」を継続購入しない理由は？	19
図34：年代別 食の安全に対する意識	20
図35：年代別 「コウノトリの舞」の知名度	20
表1：2014年度データとの比較	4
表2：【問7】防災訓練への参加度数と【問2】年齢	7
表3：【問7】防災訓練への参加度数と【問6】有事の際に助け合い行動がとれると思うか	7
表4：【問9】健康意識と【問11】運動習慣	9
表5：【問9】健康意識と【問12】運動の継続	9
表6：【問9】健康意識と【問13】仲間の存在	9
表7：【問9】健康意識と【問14】運動する環境	9
表8：市民の「【問16】経済感覚」に影響を与える要因	11
表9：市民の「【問32】育児満足度」に影響を与える要因	18

1. 調査概要

1. 1 調査の背景

豊岡市では、2013 年度より、より実効性の高い新たな政策評価の試みとして、「協働型プログラム評価」を導入し、その評価活動の一環として、2014 年度より「政策モニタリング調査」を実施している。下記 7 つの重点政策の進捗状況をモニタリングするため、昨年度に引き続き、今年度も調査を行った。なお、「エコ農業のまち」は今年度の調査から新たに追加された政策である。

- | | |
|-----------|-------------|
| ①安全・安心のまち | ②健康長寿のまち |
| ③環境に優しいまち | ④おもてなし観光のまち |
| ⑤交通の便利なまち | ⑥子育てに優しいまち |
| ⑦エコ農業のまち | |

来年度以降も、同時期（4 月中旬ごろ）に同じ調査票を用いて調査を行い、経年変化の分析をすすめる予定である。

1. 2 調査の目的

本年度の調査の主な目的は、以下の 3 点である。

- ・ 7つの取り組み分野における市民の意識・行動に関する現状を把握すること
- ・ 7つの取り組み分野における市民のニーズを分析すること
- ・ 6つの取り組み分野における昨年度からの変化を分析すること

また、本報告書は、以下のように活用されることを期待している。

【プロセス評価への活用】過去一年間の取り組みの成果と進捗状況を把握し、市民とともに、改善に向けての方策を検討するための材料として活用されること

【セオリー評価への活用】次年度の政策形成に向けて、市民のニーズを分析し、次年度の戦略体系図のロジックを批判的に検討するための材料として活用されること

1. 3 本年度の調査の概要

18 歳以上の豊岡市民の中から 3,000 人を無作為に抽出し、アンケート用紙を郵送した。

3 月下旬に市役所内の「調査票作成に関わっていない職員」10 名を対象にパイロットテストを実施し、調査票の最終校正を行った。4 月 23 日に 3,000 人の対象者にアンケートを送付した。5 月 12 日の締め切りから 1 週間の猶予期間を経て、5 月 15 日に回答の受付を締め切り、15 日時点での回収数を最終回答数とした。最終的な回答数は 1,376 票（うち無効回答 5 票）、回答率は 45.9%（有効回答率 45.7%）であった。

なお、本調査の企画設計、データ・セットの作成と集計・分析、報告書原案の作成については、当社客員研究員の明治大学ガバナンス研究科 北大路信郷教授と、同ガバナンス研究科 源由理子教授、東洋大学社会学部 米原あき准教授から支援を頂いている。特に本調査全般について、専門社会調査士である米原氏にご尽力頂いた。

2. 調査結果

本章では、調査票から得られたデータの記述と分析を行う。各質問項目の記述統計については、「3. 参考データ」に度数テーブルを掲載してあるので、随時参照されたい。また、短時間で概要を把握して頂くため、2.2～2.8の主要政策ごとに【要点】を箇条書きにまとめ、昨年度からの継続調査となる2.2～2.7については【昨年度からの変化】を付記した（t検定による、昨年度データとの比較分析に基づく：下表1参照）。報告書内で用いられている、相関分析、t検定等の統計分析については、「4. テクニカル・ノート」を参照されたい。

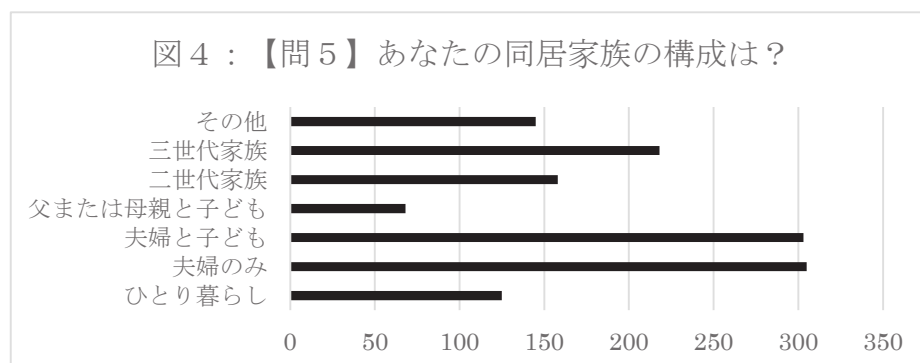
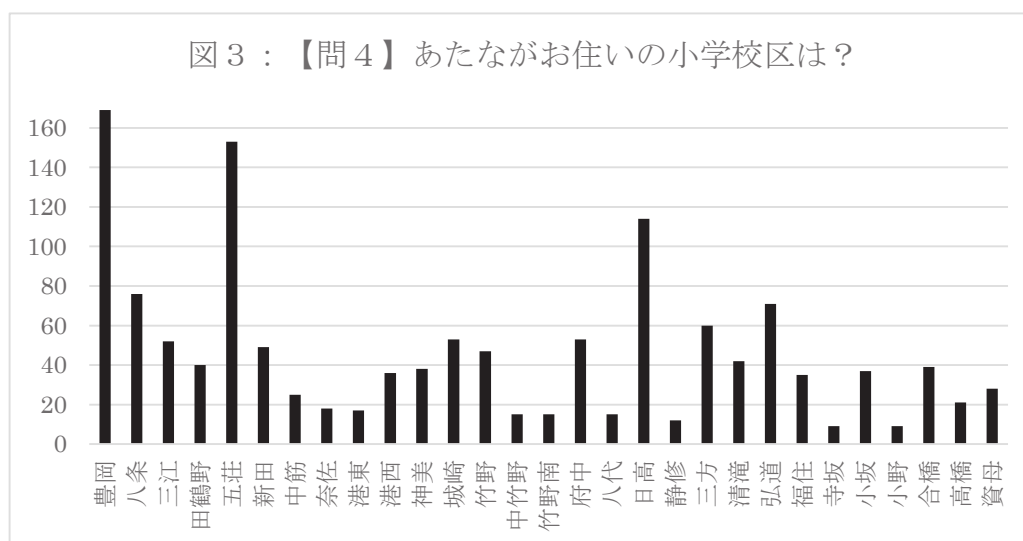
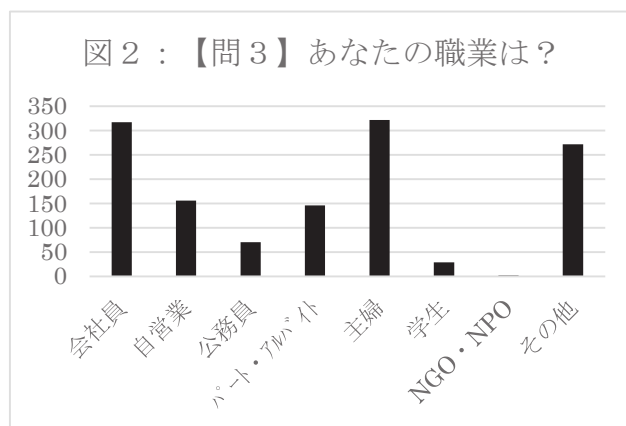
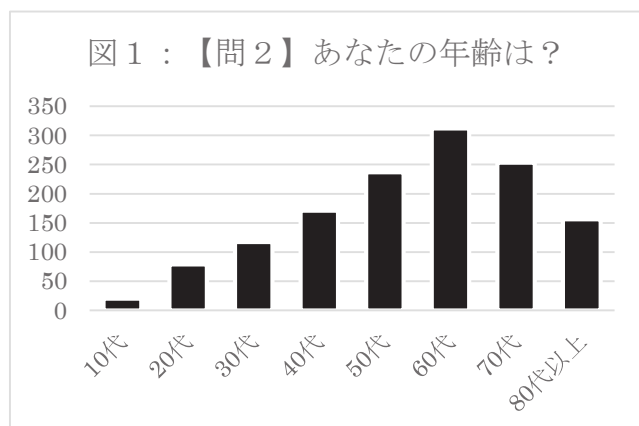
表1：2014年度データとの比較（t検定）

		2014年 平均値	2015年 平均値	(2015-2014) 平均値の差	統計的 有意性
安心・安全	問6：災害時「助け合い行動」がとれる	3.37	3.42	0.05	
	問7：防災訓練に参加したことがある	3.14	3.11	-0.03	
	(問8：災害への備え・・・消火器、火災報知器など複数選択)				
健康長寿	問9：自分は健康だと思う	2.61	2.61	0.00	
	(問10：健康づくりのところがけ・・・食生活、歯の健康など複数選択)				
	問11：健康のために運動をしている	2.46	2.42	-0.04	
	問12：運動を継続している	3.47	3.35	-0.11	有[減]
	問13：健康づくりをする仲間がいる	2.56	2.49	-0.08	
	問14：健康づくりの環境が整っている	2.85	2.79	-0.05	
環境	問15：豊岡市は環境に優しいまちだ	3.18	3.21	0.03	
	問16：豊岡市は経済的に豊かになっている	2.35	2.32	-0.02	
	問17：日常生活で省エネを意識している	3.76	3.71	-0.05	
	問18：環境に配慮した商品を購入している	3.30	3.20	-0.09	有[減]
	問19：環境への取組みは経済にもプラスだ	3.43	3.40	-0.03	
おもてなし	問20：豊岡市は観光客で活気あるまちだ	2.49	2.54	0.06	
	問21：自分の地域にもっと観光客が来てほしい	3.60	3.57	-0.03	
	問22：市外の人に豊岡を観光先として勧めたい	3.40	3.41	0.01	
	問23s：観光ボランティアに関わってみたい	2.58	2.57	-0.01	
	(問24：豊岡市の魅力的な観光資源・・・城崎温泉、城下町出石など順位選択)				
交通	問25：豊岡市の公共交通は便利だ	2.13	2.13	0.00	
	問26：公共交通を使うよう心がけている	2.14	2.14	0.00	
	(問27：必要な公共交通・・・バス、タクシーなど順位選択)				
	(問28：ビジネス・レジャーの主な移動手段・・・鉄道、バスなど選択)				
子育て	問29：豊岡市は子育てに優しいまちだ	2.98	2.94	-0.04	
	問30s：子育てボランティアに関わってみたい	2.81	2.79	-0.02	
	問31：市の子育て支援サービスを活用している	3.05	3.08	0.03	
	問32：子育てを楽しんでいる	3.34	3.33	-0.01	

昨年度からの変化を分析すると、上表のような結果が得られた。なお、t検定の対象となるのは連続データのみであるため、該当しない質問項目（問8、10、24、27、28）はt検定の分析対象にはなっていない（ただし、問23、30は附問をt検定の対象とした）。上表のうち、網かけの質問項目は2014年度と比して統計的に有意に変化が見られた項目である。

2. 1 回答者の属性

回答者の男女比は、男性 43%、女性 57%で昨年度と同様の比率であった【問1】。年齢【問2】と職業【問3】は下図のように分布しており、昨年度同様、60代以上の高齢者と主婦・会社員からの回答が多かった。小学校区ごとの回答数は下図【問4】のとおりである。また、回答者の家族形態は、「夫婦のみ（23%）」「夫婦と子ども（23%）」で全体の半数近くを占めており、小学生以下の子どもがいると回答した市民の平均子ども数（小学生以下）は、2.1人であった（昨年度 1.9人）【問5】。



2. 2「安全・安心のまち」

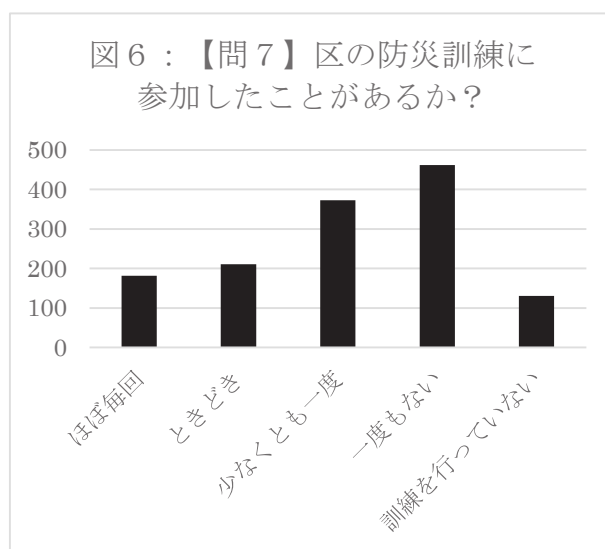
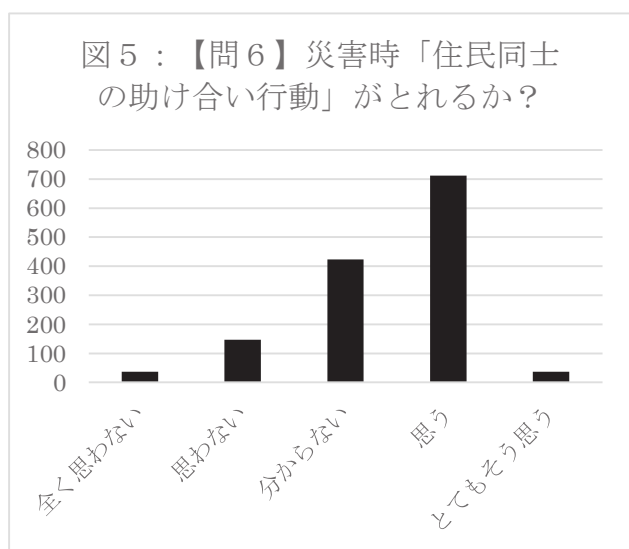
【要点】

- ・「助け合い行動」に対する意識と、防災訓練への参加経験の間には統計的に有意な関係がある。
- ・「助け合い行動」に対する前向きな意識を持っている市民および防災訓練に参加したことがある市民は、全市民の半数強である。
- ・若年層の防災訓練参加率が低い。

【昨年度からの変化】

- ・【問6～8】については、昨年度と比較して統計的に有意な差は見られなかった。

災害時の「助け合い行動」について、半数以上（55.2%）の市民が「助け合い行動がとれると思う」と回答しており【問6】、各区が実施する防災訓練に、少なくとも一度は参加したことがある市民も半数を超えている（56.4%）【問7】。



また、昨年度に引き続き、「助け合い行動がとれると思う」という意識と、防災訓練への参加経験の間には、統計的に有意な相関関係がみられた（ $r=0.26$, $p<0.01$ ）。すなわち、「助け合い行動」への意識の高さと、訓練への参加頻度の高さには相互に関係があり、一方が高いと他方も高まる傾向がある。

しかしながら、「一度も防災訓練に参加したことがない」あるいは「区で訓練を行っていない」と回答した市民が半数弱（43.6%）存在することも明らかになり、昨年度からの改善は見られなかった。これらの「防災訓練に一度も参加したことがない・区で訓練を行っていない」と回答したグループと「一回以上、防災訓練に参加したことがある」と回答したグループの傾向を比較すると、以下のようなクロス表が得られた。

表2：【問7】防災訓練への参加度数と【問2】年齢

		【問7】防災訓練への参加		合計
		不参加	1回以上	
【問2】年齢	10代	14	6	20
	20代	71	8	79
	30代	92	25	117
	40代	74	97	171
	50代	85	151	236
	60代	99	210	309
	70代	87	162	249
	80代	61	89	150
合計		583	748	1331

表3：【問7】防災訓練への参加度数と【問6】有事の際に助け合い行動がとれると思うか

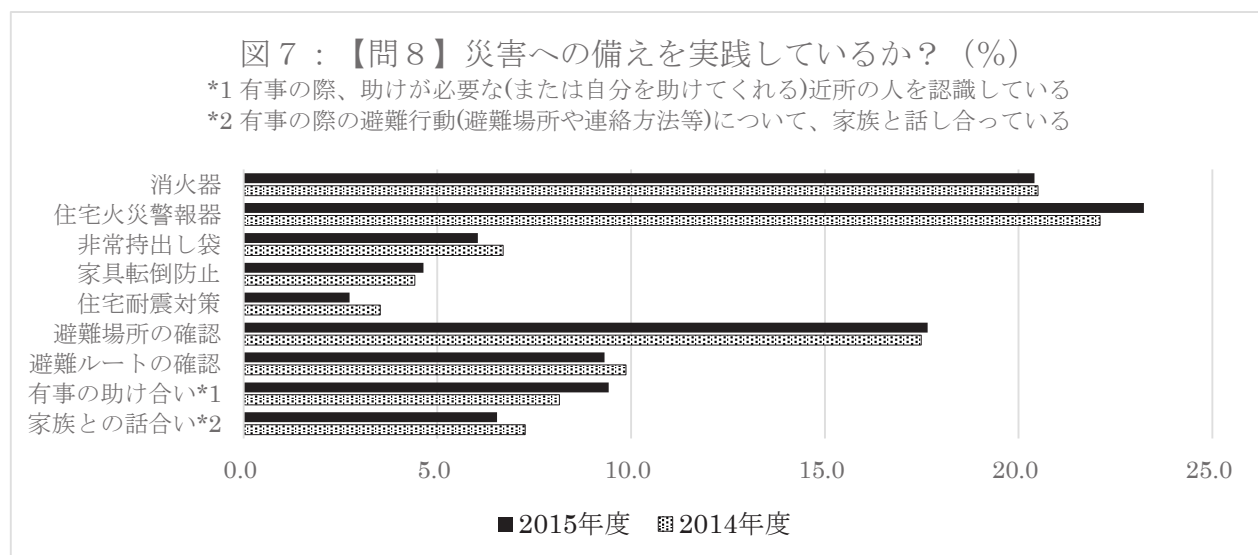
		【問7】防災訓練への参加		合計
		不参加	1回以上	
【問6】助け合える	全く思わない	28	9	37
	思わない	79	67	146
	分からない	243	177	420
	思う	228	479	707
	とても思う	10	27	37
合計		588	759	1347

表3：カイ2乗値=97.9 (df=4, p<0.01)

表2：カイ2乗値=163.1 (df=7, p<0.01)

いずれも「不参加」グループと「参加」グループの間に統計的に有意な差があることが明らかになった。また、t検定の結果から、「不参加」グループの年齢は「参加」グループの年齢よりも統計的に有意に低い($t=-9.6$, $p<0.01$)ということと、「不参加」グループの助け合い意識は「参加」グループの意識よりも統計的に有意に低い($t=-8.9$, $p<0.01$)ということが分かった。

「災害への備え」に関する回答については下図の結果を得た。全体的な傾向は2014年度と類似している。「非常持出し袋」の準備や「家族との話し合い」など、比較的容易に実施できる「備え」の充実が、今後期待される。



2. 3「健康長寿のまち」

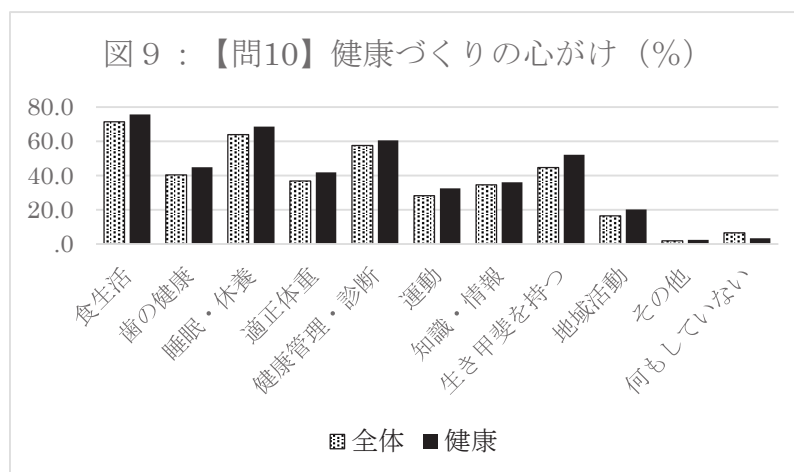
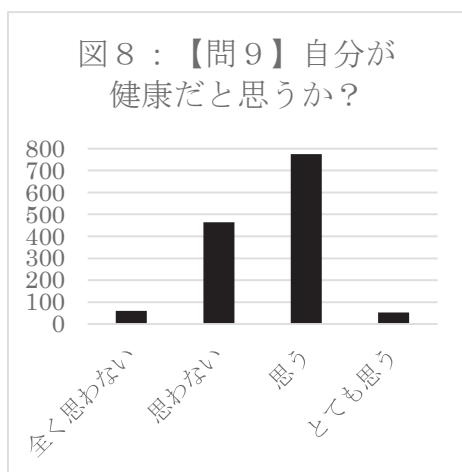
【要点】

・60%以上の市民が「自分は健康だと思う」と感じており、市民の約40%が週2日以上運動している。一旦運動を始めると、長続きする傾向がある。
 ・「運動習慣」と「健康づくりの仲間」については、自分が「健康だと思う」グループと「思わない」グループに統計的に有意な差異がみられ、「健康だと思う」グループの方が、運動習慣が身についており、健康づくりの仲間も多い。

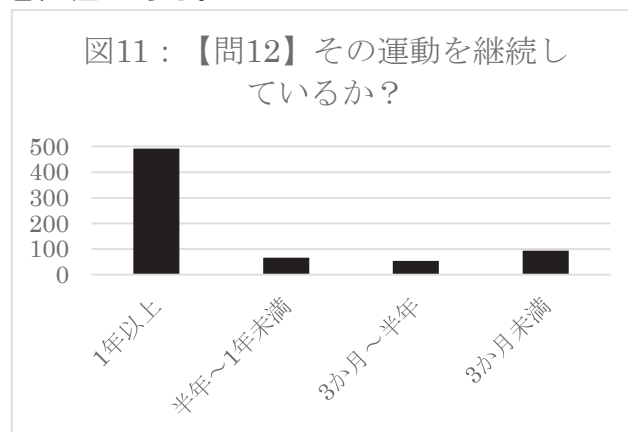
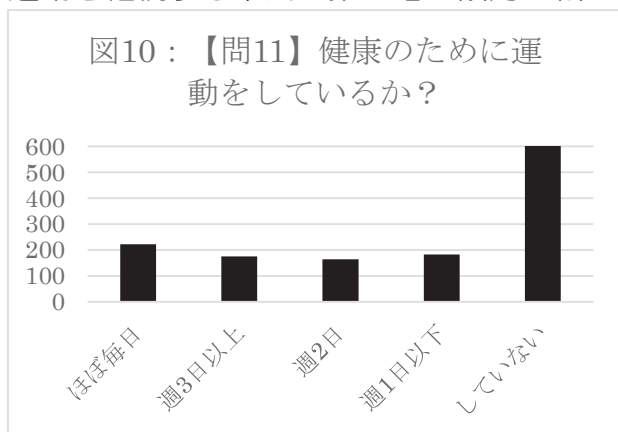
【昨年度からの変化】

・【問12】運動を継続している市民の数は、昨年と比べて統計的に有意に減少している。
 ・【問9、11、13、14】については、昨年度と比較して統計的に有意な差異は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

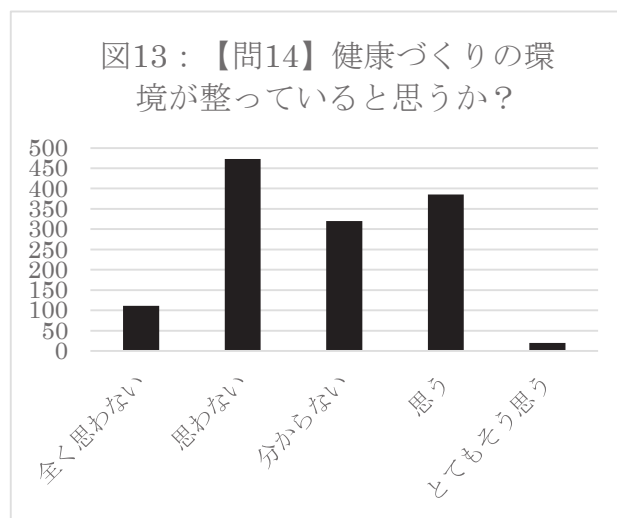
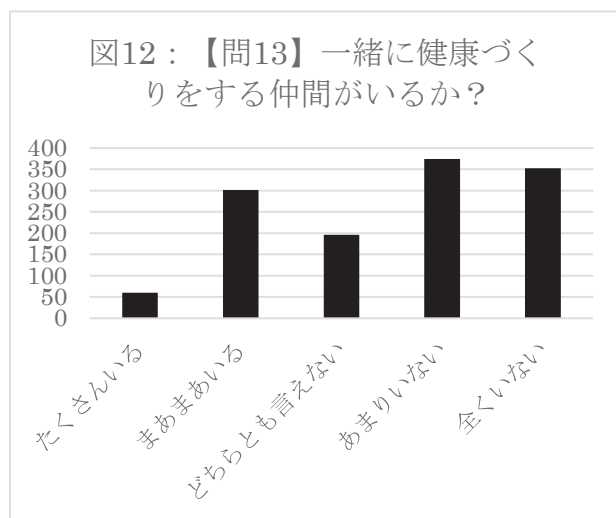
現在の自分の健康状態について、約60%の市民が「健康だと思う・とても思う」と回答しており【問9】、「健康だと思う・とてもそう思う」と回答した市民は、回答者全体と比べて、「健康のための心がけ」のすべてにおいて（除・「その他」「何もしていない」）、高い割合で何らかの「心がけ」を実践していることが分かった【問10】。



また、健康維持のための運動習慣については、「1日30分以上の運動を週2日以上」行っていると回答した市民が約42%、なんらかの運動を過去1年以上継続している市民は約70%（全回答者の約36%）存在することが分かった【問11・12】。運動を継続している市民の数は、昨年度と比較すると統計的に有意に減少しているが、一旦運動を始めると、長続きする市民の割合は高い（70%）ので、運動を始めるきっかけを提供することにより、運動を継続する市民の数が増加傾向に転じる潜在性がある。



「健康づくりをする仲間が(沢山)いる」という市民は30%弱で、「あまりいない・全くいない」という回答が半数を超えた【問13】。また、身近に健康づくりのできる環境があると感じている市民は約31%であるのに対し、そう感じない市民は約45%であった【問14】。



自分が「健康だと思う」グループと「思わない」グループの傾向を比較すると、以下のようなクロス表が得られた。

表4：【問9】健康意識と【問11】運動習慣

		⑨健康だと思うか		合計
		思わない	思う	
⑪習慣	毎日	79	141	220
	週3以上	59	116	175
	週2以上	48	113	161
	週1以下	61	121	182
	なし	274	325	599
合計		521	816	1337

カイ2乗値=22.4 (df=4, p<0.01)

表5：【問9】健康意識と【問12】運動の継続

		⑨健康だと思うか		合計
		思わない	思う	
⑫継続	1年以上	148	341	489
	6か月～	28	37	65
	3か月～	23	29	52
	3か月未満	32	61	93
	合計	231	469	700

カイ2乗値=8.2 (df=4, p=0.09)

表6：【問9】健康意識と【問13】仲間の存在

		⑨健康だと思うか		合計
		思わない	思う	
⑬仲間	沢山いる	17	42	59
	まあまあ	87	211	298
	どちらとも言えない	62	132	194
	あまりいない	149	221	370
	全くいない	174	173	347
合計		489	779	1268

カイ2乗値=37.1 (df=4, p<0.01)

表7：【問9】健康意識と【問14】運動する環境

		⑨健康だと思うか		合計
		思わない	思う	
⑭環境	全くない	48	62	110
	ない	179	291	470
	分からない	140	177	317
	ある	126	251	377
	十分ある	9	11	20
合計		502	792	1294

カイ2乗値=9.9 (df=4, p=0.04)

「運動習慣」および「運動仲間の存在」に関しては、自分が「健康だと思う」グループと「思わない」グループの間に統計的に有意な差があることが明らかになり (t=-3.4, p<0.01; t=-5.9, p<0.01)、「健康だと思う」グループの方が、高い運動習慣が身についており、一緒に健康づくりをする仲間も多い傾向にあることが分かった。

2. 4「環境に優しいまち」

【要点】

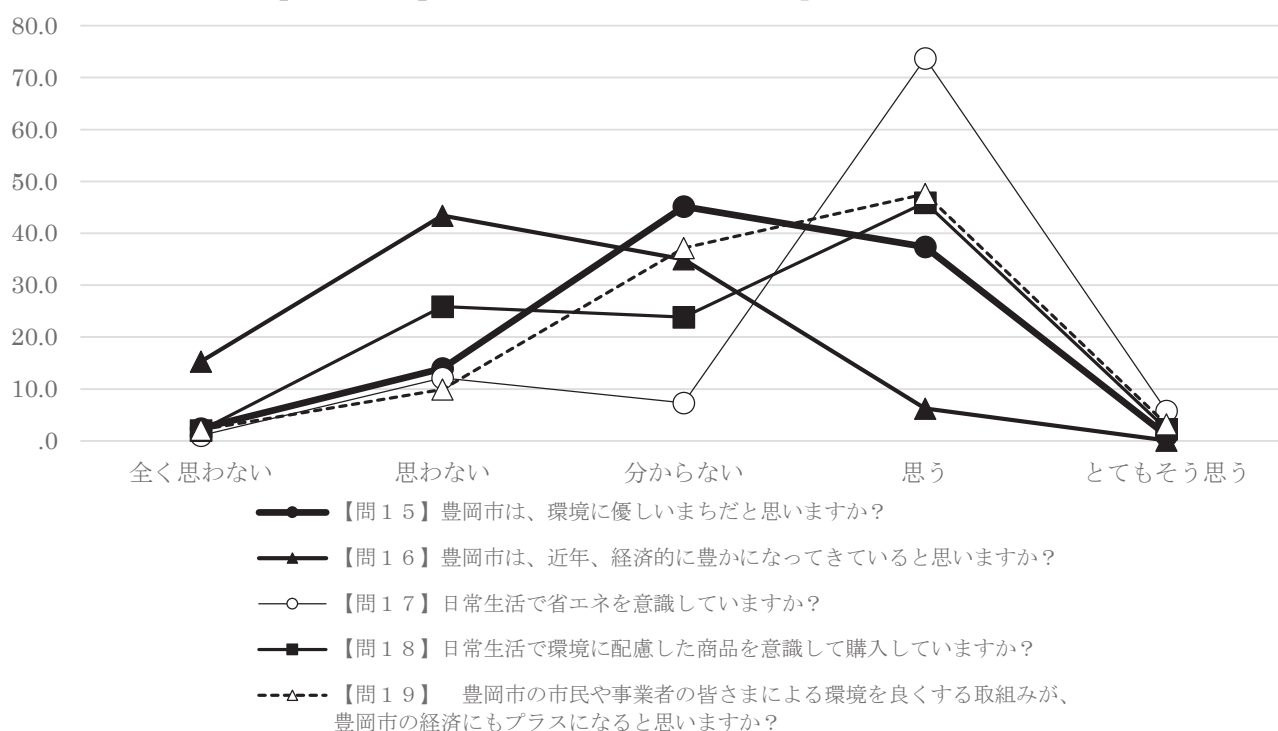
- ・「環境行動（省エネや環境商品の購入）」に前向きに取り組んでいる市民は多い。
- ・「環境への取組が経済にもプラスになる」と考える市民が増えている。
- ・「豊岡市が経済的に豊かになってきている」と感じる市民は少ない。
- ・「豊岡は環境に優しいまちである」という感覚や、「環境への取組みは経済にもプラスになる」という考え方が、「豊岡市が経済的に豊かになってきている」という感覚に強く寄与している。

【昨年度からの変化】

- ・【問 18】環境に配慮した商品を購入している市民の数は、昨年と比べて統計的に有意に減少している。
- ・【問 15, 16, 17, 19】については、昨年度と比較して統計的に有意な差は見られなかった。

「環境に配慮した経済行動と、市の経済発展が矛盾なく共存できるまち」を目指すうえで、現在の市民の意識・意見を調査した結果、以下のような声が聞かれた。

図14：【問15~19】「環境に優しいまち豊岡」についての意見（%）



グラフ上、「思う」という肯定的な意見が目立つのが、昨年同様、「省エネ」や「環境商品の購入」などの「日常生活における環境行動」である。加えて、今年度は、「環境への取組みが市の経済にもプラスになる」という考え方に賛同する声が強くなってきているのが特徴的である。一方、昨年度に引き続き、「経済的に豊かになってきている」という「経済感覚」については「思わない・全く思わない」という否定的な意見が目立っている。

『環境に優しいまち』の取り組みに関して、市民の「経済感覚」に影響を与える要因を分析したところ、下記の結果が得られた。

表8：市民の「【問 16】 経済感覚」に影響を与える要因

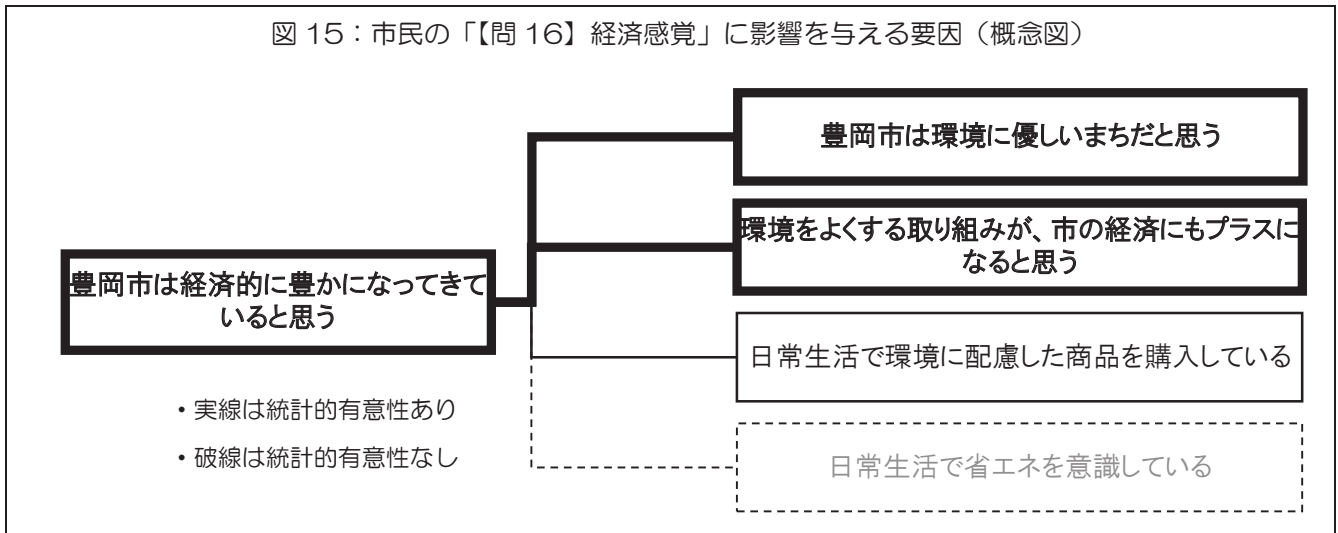
	非標準化係数	標準誤差	標準化係数	p
【15】 豊岡市は環境に優しい	.230	.028	.223	.000
【17】 省エネを意識している	-.045	.030	-.044	.127
【18】 環境商品を購入する	.059	.026	.067	.022
【19】 環境と経済の相互関係	.218	.028	.215	.000

従属変数:【問 16】豊岡市は経済的に豊かになってきている

OLS 回帰分析 (F(4)=49.4, $p<0.01$; $R^2=0.1$)

この分析から、「豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきている」という市民の経済感覚に対して、「豊岡市は環境に優しい」という感覚や、「環境への取組みは経済にもプラスになる」という考え方の影響が強く働いていることが分かった。次いで、「環境商品を意識的に購入しているかどうか」も統計的に有意な影響のある要因であるが、「省エネを意識しているかどうか」は有意な影響がないことも明らかになった。

図 15：市民の「【問 16】 経済感覚」に影響を与える要因（概念図）



2. 5「おもてなし観光のまち」

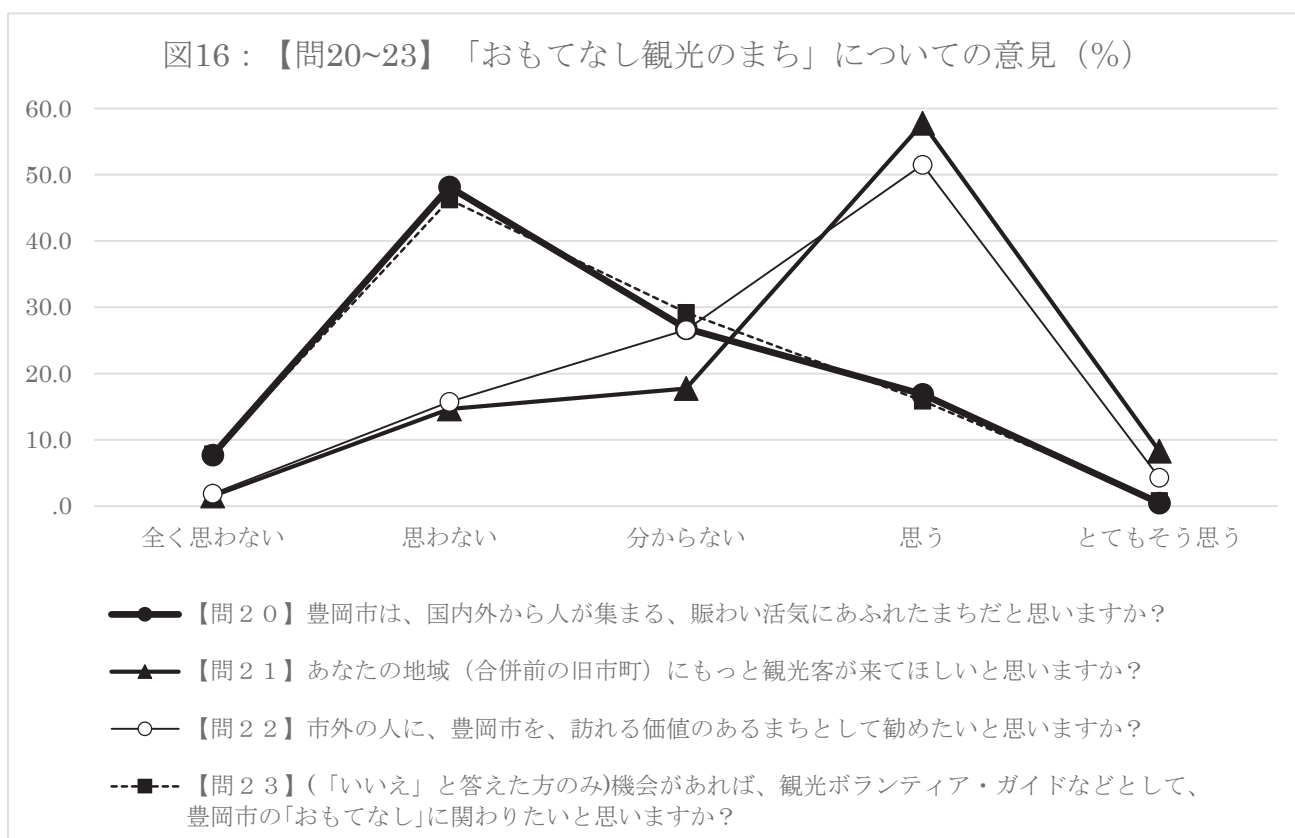
【要点】

- ・豊岡市の観光開発を願う市民は多いが、地域ごとに見ると、観光客の流入を望まない市民が多い地域もある。
- ・豊岡の魅力的な観光資源として、最も多くの市民の支持を集めたのは、城崎温泉・城下町出石・コウノトリであった。
- ・「観光ボランティアに関わりたい」と考えている市民は全体的に少なかったが、「分からない」という回答が多く、「市外の人に豊岡を観光先として勧めたい」という市民は半数以上いることから、具体的なきっかけや情報があれば、参加してみようと思う市民が増える可能性がある。

【昨年度からの変化】

- ・【問 20～23】については、昨年度と比較して統計的に有意な差異は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

「観光地としての豊岡市」についての、現在の市民の意識・意見を調査した結果、昨年と類似した、以下のような傾向が見られた。



上記のグラフを見ると、「思う」という肯定的な意見が目立つのが、「もっと観光客が来てほしい」という意見と「市外の人に豊岡市を観光先として勧めたい」という意見である。約66%の市民が、「もっと観光客が来てほしい」と考えていることから、多くの市民が観光地としての豊岡の発展を願っていることが分かる。反対に、「思わない」という否定的な意見が目立つのが、「豊岡市は観光客の集まる活気あふれたまちだと思う」という意見と「機会があれば観光ボランティアなどに関わりたい」という意見である。

現在、仕事やボランティアで観光客への「おもてなし」活動に従事していると回答した市

民は、昨年度（6%弱）より若干減少して、4%弱であった。現在そのような活動に従事していない市民の中で、観光ボランティア活動について、「機会があればやってみたい」と考えている市民は、17%弱と多くはないが、一方で、昨年同様、「分からない」という回答が約30%あったこと、そして、「市外の人に豊岡を観光先として勧めたい」という市民が半数以上にのぼることから、具体的なボランティアのきっかけが身近に紹介されれば、参加してみようと思う市民が増える可能性がある。

また、豊岡の魅力的な観光資源として、最も多くの市民の支持を集めたのは、昨年同様、「城崎温泉」「城下町出石」「コウノトリ」であった【問24】。

図17：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源は？（%）

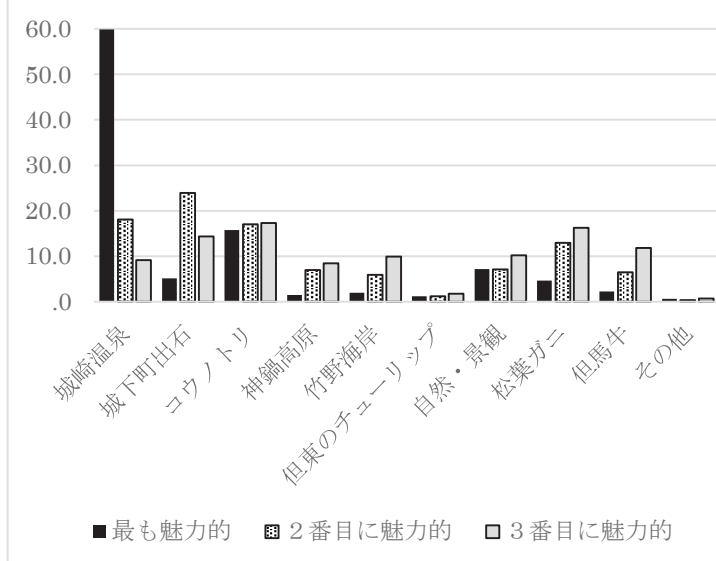
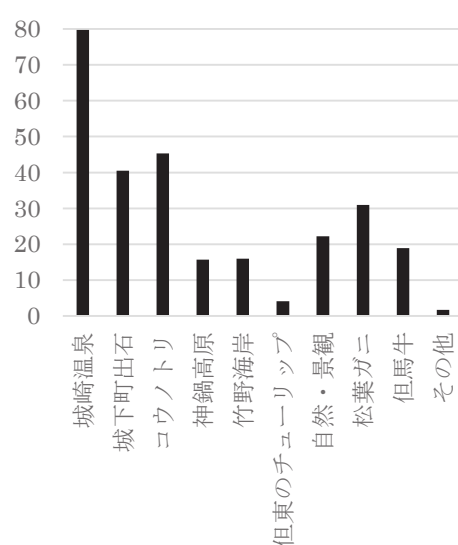


図18：【問24】観光資源の魅力順位（%）



しかしながら、観光地としての発展の是非については、地域によって「肯定派」と「否定派」の現れ方が様々である。まず、「豊岡市は観光客で賑わう活気あるまちだ」と「思う・とてもそう思う」肯定派の割合が最も高いのは、昨年度と同様、城崎である（45%）。逆に、「思わない・全く思わない」否定派の割合が高いのは、昨年と変わって、豊岡（67%）・神美（66%）・田鶴野（65%）の3学区であった。「もっと観光客が来てほしい」「市外の人に豊岡市を観光先として勧めたい」と考える市民の割合は全体として高かったが、学区ごとに見てみると、小野では33%、神美では31%の市民が「観光客に来てほしいとは思わない」と回答しており、静修では33%、田鶴野では30%の市民が、「市外の人に豊岡観光を勧めたいとは思わない」と回答している。観光開発に際しては、これらの意見にも留意する必要があるだろう。

図19：豊岡は観光客で賑わうまちだ（％）

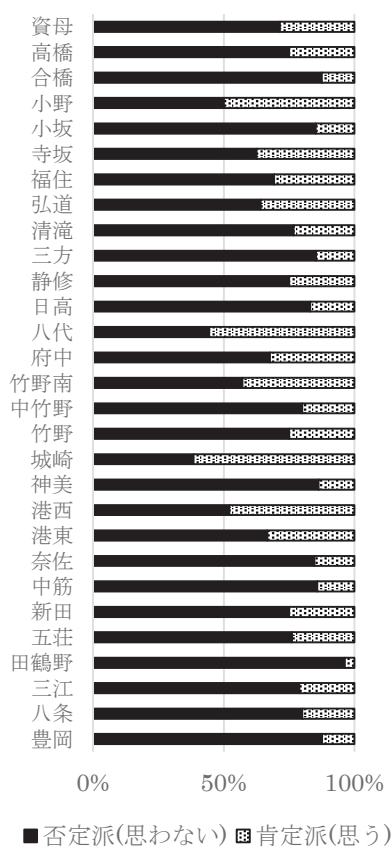


図20：もっと観光客が来てほしい（％）

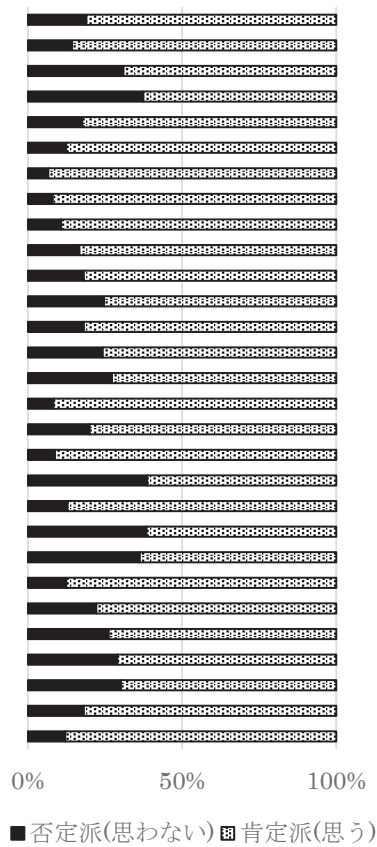
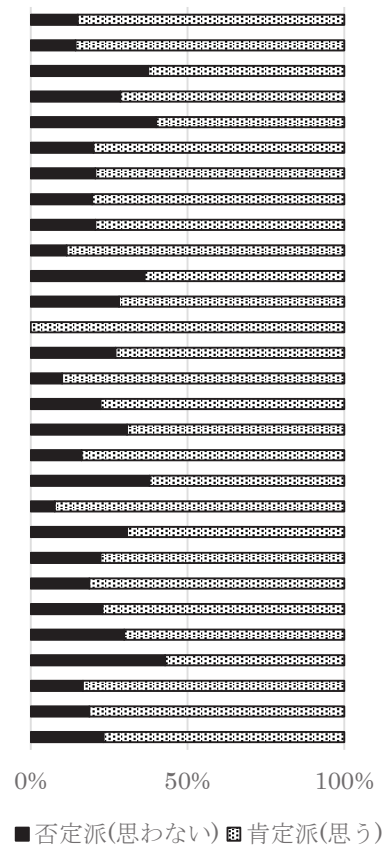


図21：豊岡観光を勧めたい（％）



2. 6「交通の便利なまち」

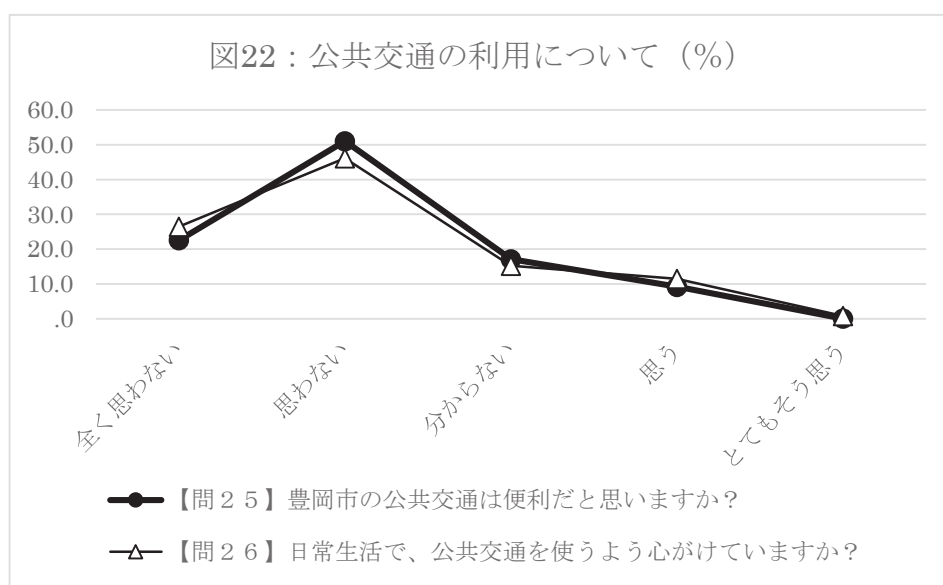
【要点】

- ・豊岡市の公共交通が便利だと感じ、公共交通を使うよう心がけている市民は10%前後と少数である。
- ・市民にとって最も必要性が高い公共交通はバスと鉄道であり、特に高齢者にとってバスは必要な交通手段である。
- ・地域によって、公共交通のニーズに違いがある。

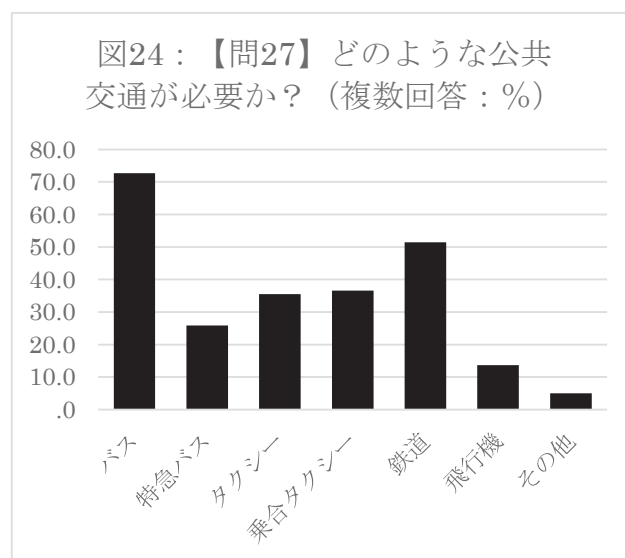
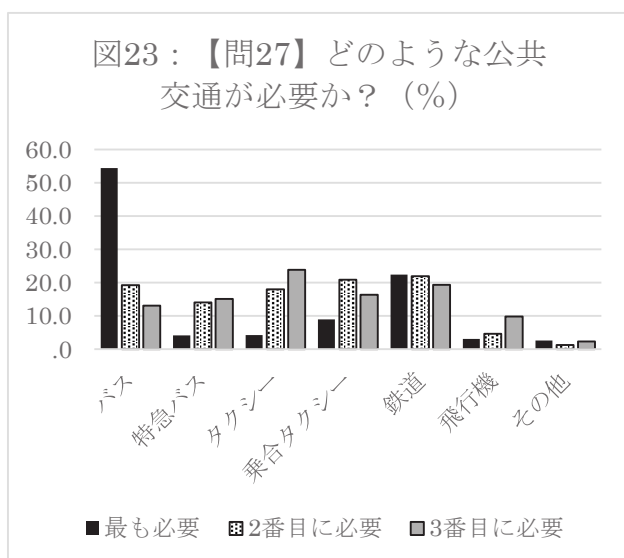
【昨年度からの変化】

- ・【問25・26】については、昨年度と比較して統計的に有意な差異は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

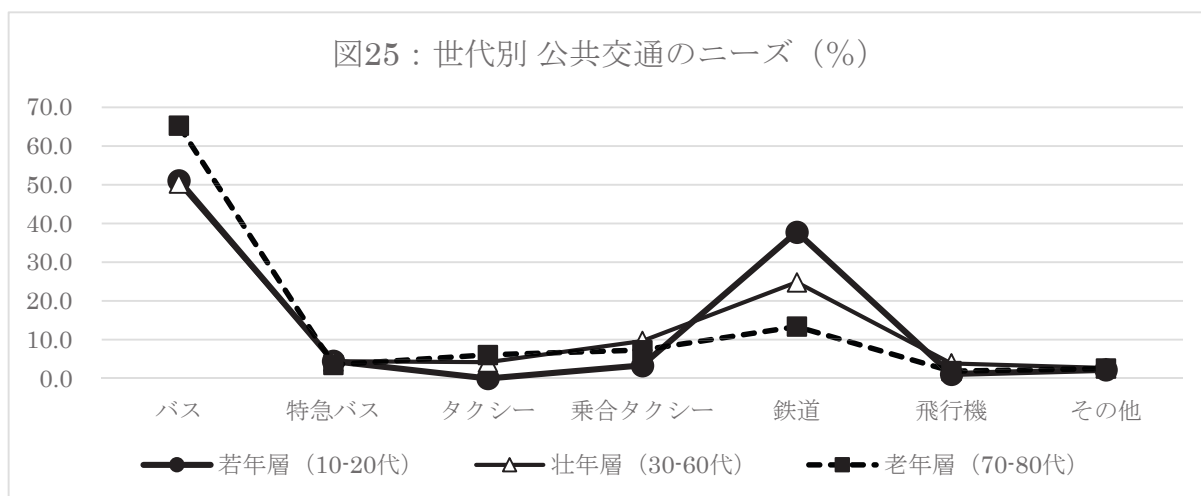
豊岡市の公共交通が便利だ（そう思う・とてもそう思う）と感じている市民は、昨年同様10%弱にとどまった【問25】。また、公共交通を使うよう心がけている市民も10%強と少数である【問26】。



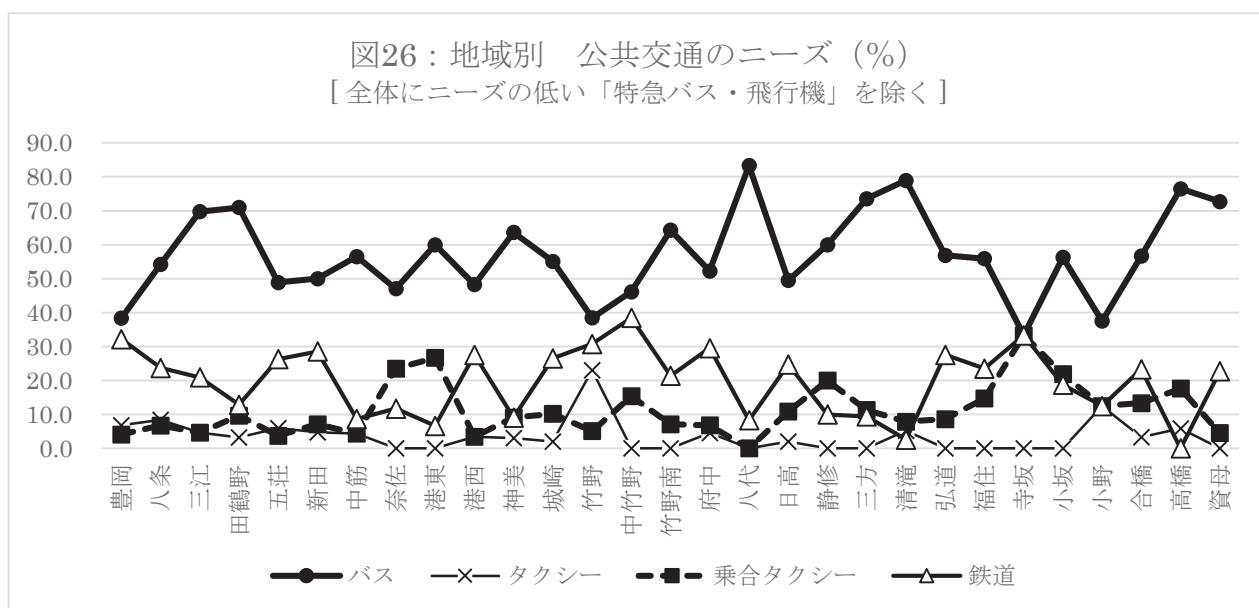
また、市民が必要と感じている公共交通の種類は以下のとおりである。「バスが最も必要」と感じる市民が多いことが分かる。



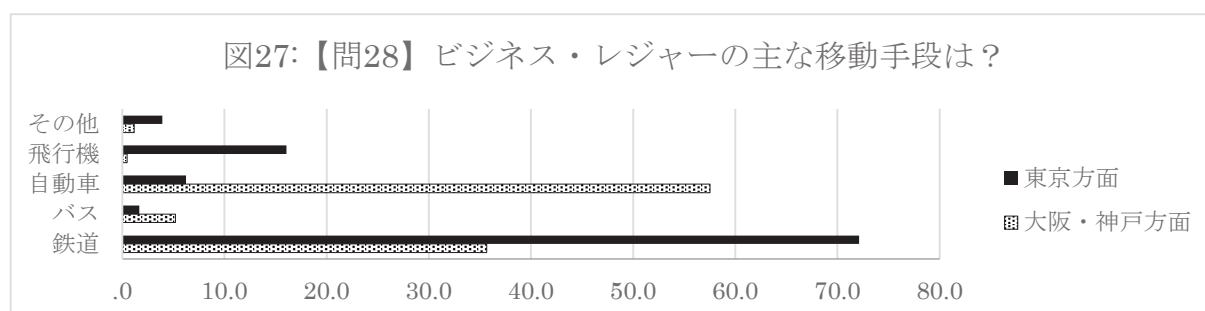
世代別に「最も必要」と感じる公共交通のニーズを分析すると、以下のような傾向の違いが見られた。すべての世代でバスへのニーズが高いが、特に老年層のバスへのニーズが突出している。また、若い世代ほど鉄道を必要とする傾向が高い。



「最も必要」と感じる公共交通のニーズは、回答者の居住地によっても異なる。下図の通り、全体にバスへのニーズが高いが、豊岡・竹野・中竹野・寺坂では鉄道へのニーズも高い。一方、奈佐・港東・寺坂・小坂などでは乗合タクシーへのニーズが高い。



また、大阪・神戸・東京への移動に際しての主要交通手段については、「関西方面へは自動車か鉄道で」、「関東方面へは鉄道か飛行機で（主に鉄道）」という使い分けが見られた。



2. 7「子育てに優しいまち」

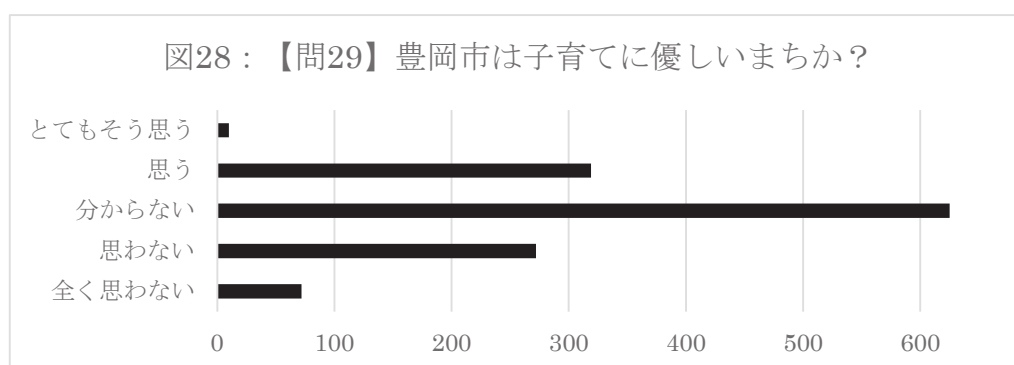
【要点】

- ・豊岡市は子育てに優しいまちだと感じている市民(約 25%)とそうは思わないという市民(約 27%)がほぼ同数である。
- ・子育てボランティアに関心のある市民は、全体で 23%程度だが、「分からない」という回答が約 37%あることから、具体的なきっかけや情報があれば、ボランティア活動に参加する市民が増える可能性がある。
- ・子育て世帯は、それ以外の市民よりも、子育てボランティア活動への関心と育児満足度が、統計的に有意に高い。
- ・「市の子育て支援サービス」が、市民の育児満足に統計的に有意な影響を与えている。

【昨年度からの変化】

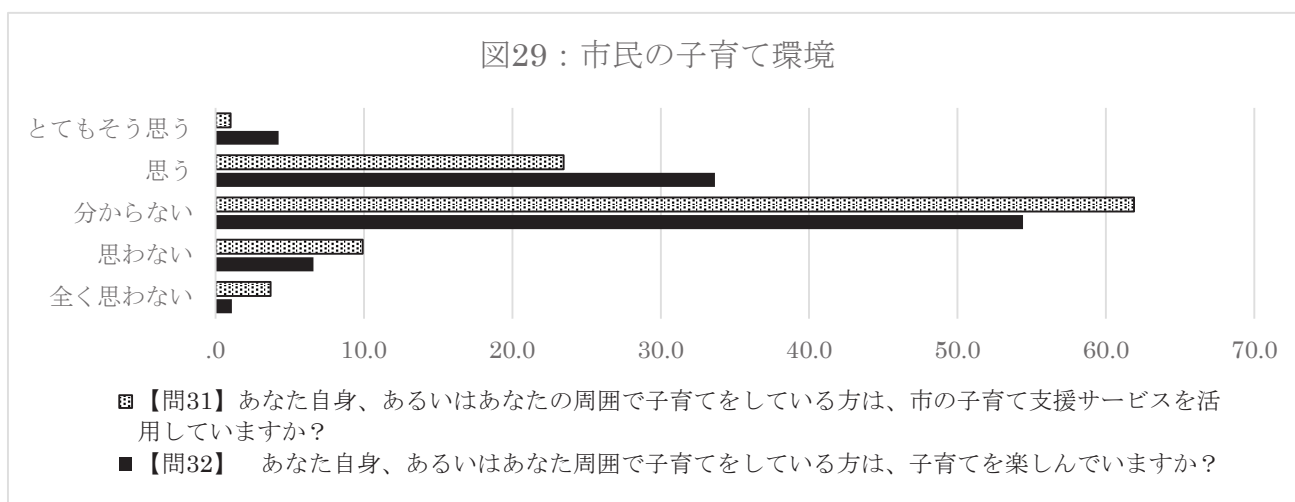
- ・【問 29～32】については、昨年度と比較して統計的に有意な差異は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

豊岡市は子育てに優しいまちだ(そう思う・とてもそう思う)と感じている市民は約 25%、そうは思わないという市民は約 27%で、昨年とほぼ同じ結果であった【問 29】。



また、現在、仕事やボランティアで子育て支援に関わっていると回答した市民は約 15%であり、関わりを持っていない市民のうち、「機会があれば関わってみたい」と考えている市民は約 23%であった【問 30】。また、37%の市民が「分からない」と回答していることから、具体的なきっかけや情報があれば、参加を検討する市民も現れる可能性がある。

市の子育て支援サービスの活用状況【問 31】と市民の育児満足度【問 32】を見てみると、支援サービスを活用している市民は約 25%、育児を楽しんでいる市民は 38%存在する。



「分からない」という回答がそれぞれ 60%・50%を超えているのは、育児に関与したことが無い市民の回答を反映していると考えられる。そこで、子育て世帯とそれ以外の市民の回答を比較分析すると（t 検定）、「子育て世帯が住みやすいまちか【問 29】」、「子育て支援サービスを活用しているか【問 31】」については統計的な有意差は見られなかったが、「育児ボランティアに関心があるか【問 30】」、「子育てを楽しんでいるか【問 32】」については、子育て世帯の方が、統計的に有意に肯定的な傾向を示していることが分かった（ $t=2.06$, $df=1048$, $p<0.05$; $t=5.15$, $df=343$, $p<0.01$ ）。

さらに、市民の育児満足度（子育てを楽しんでいるか【問 32】）に影響を与える要因を分析したところ、下記の結果が得られた。

表 9：市民の「【問 32】育児満足度」に影響を与える要因

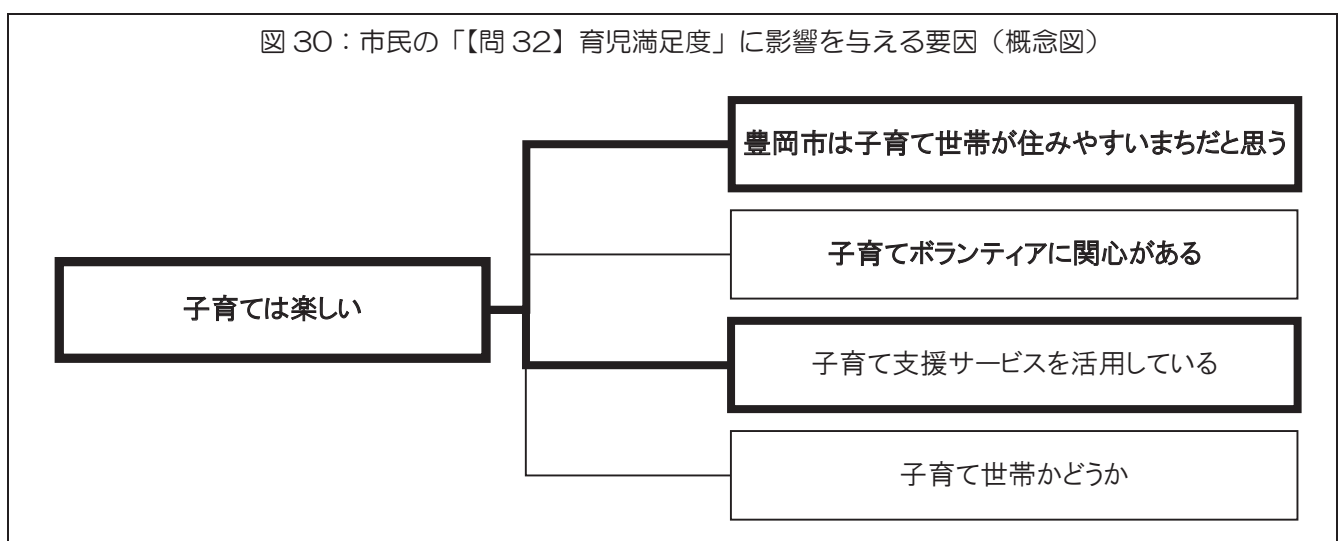
	非標準化係数	標準誤差	標準化係数	p
【29】豊岡市は子育て世帯が住みやすい	.149	.026	.172	.000
【30】子育てボランティアに関心がある	.045	.023	.059	.049
【31】子育て支援サービスを活用している	.244	.030	.247	.000
【ダミー】子育て世帯かどうか (yes=1, no=0)	.272	.054	.147	.000

従属変数：【32】子育てを楽しんでいるか

OLS 回帰分析（ $F(4)=40.7$, $p<0.01$; $R^2=0.1$ ）

この分析から、「子育ては楽しい」という市民の満足度に対して、上記 4 つの要因がすべて統計的に有意な影響をもたらしていることが分かった。中でも影響が大きいのが「子育て支援サービス」（標準化係数の値が最大：0.247）と「住みやすさ」（標準化係数：0.172）であり、子育てに関する行政サービスが市民の満足度に影響を与えることが明らかになった。

図 30：市民の「【問 32】育児満足度」に影響を与える要因（概念図）

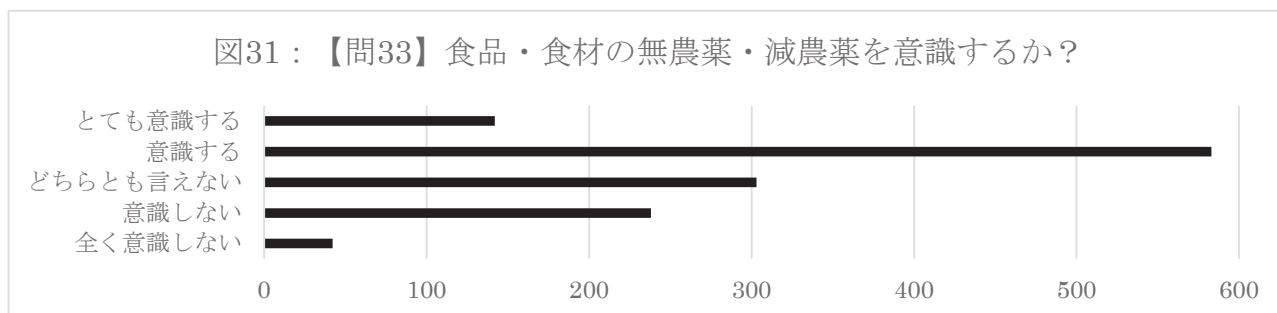


2. 8「エコ農業のまち」

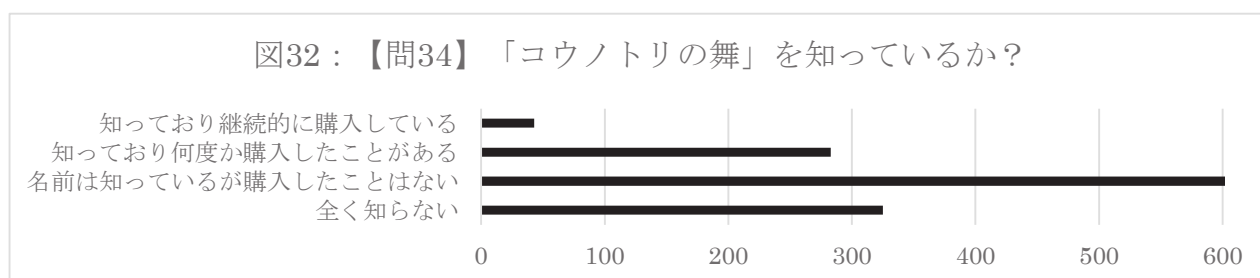
【要点】

- ・半数以上の市民が無農薬・減農薬の食品・食材に関心を持っている。
- ・「コウノトリの舞」の知名度は一定程度高い(7割強)が、継続的に購入している市民は3%程度とかなり少ない。
- ・「コウノトリの舞」を継続購入しない主な理由は、「価格が高い」「販売店が少ない」「品目が少ない」からである。
- ・「食の安全に関する意識」と「コウノトリの舞の知名度」について、年代別および性別に分析した結果、若年層において意識も知名度も低く、性別では男性よりも女性の方が意識も知名度も高いことが分かった。

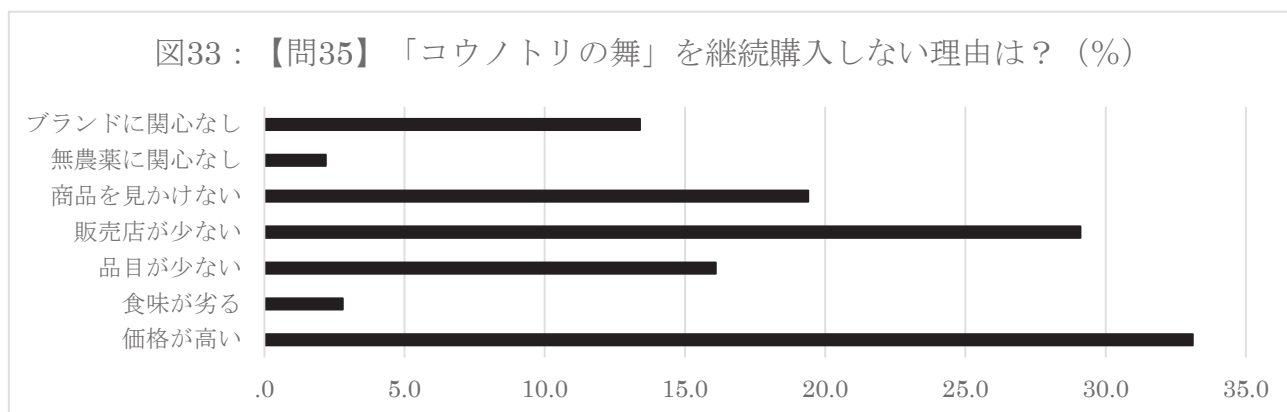
食品や食材の農薬使用に対する市民の意識は高く、半数以上（約53%）の市民が無農薬・減農薬であるかどうかを意識すると回答している【問33】。



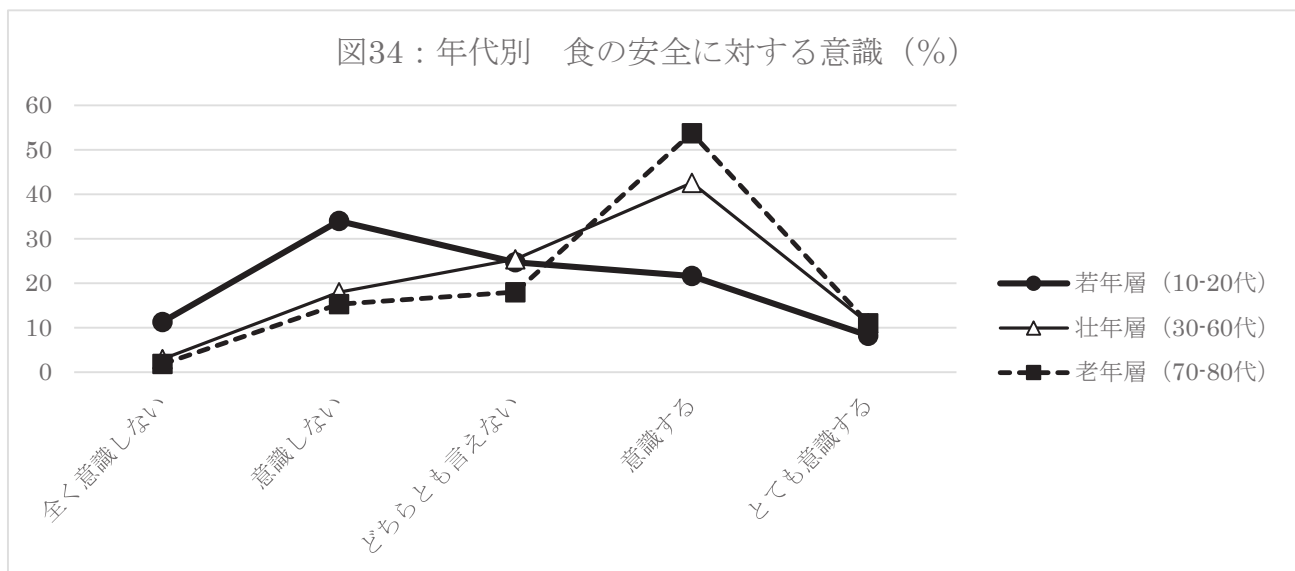
『コウノトリの舞』の知名度も高く、「知っている」と答えた市民は7割を超える【問34】。しかしながら、「購入したことがある」市民は25%程度にとどまり、さらにその中で継続的に購入を続けている市民は3%程度しかいない。



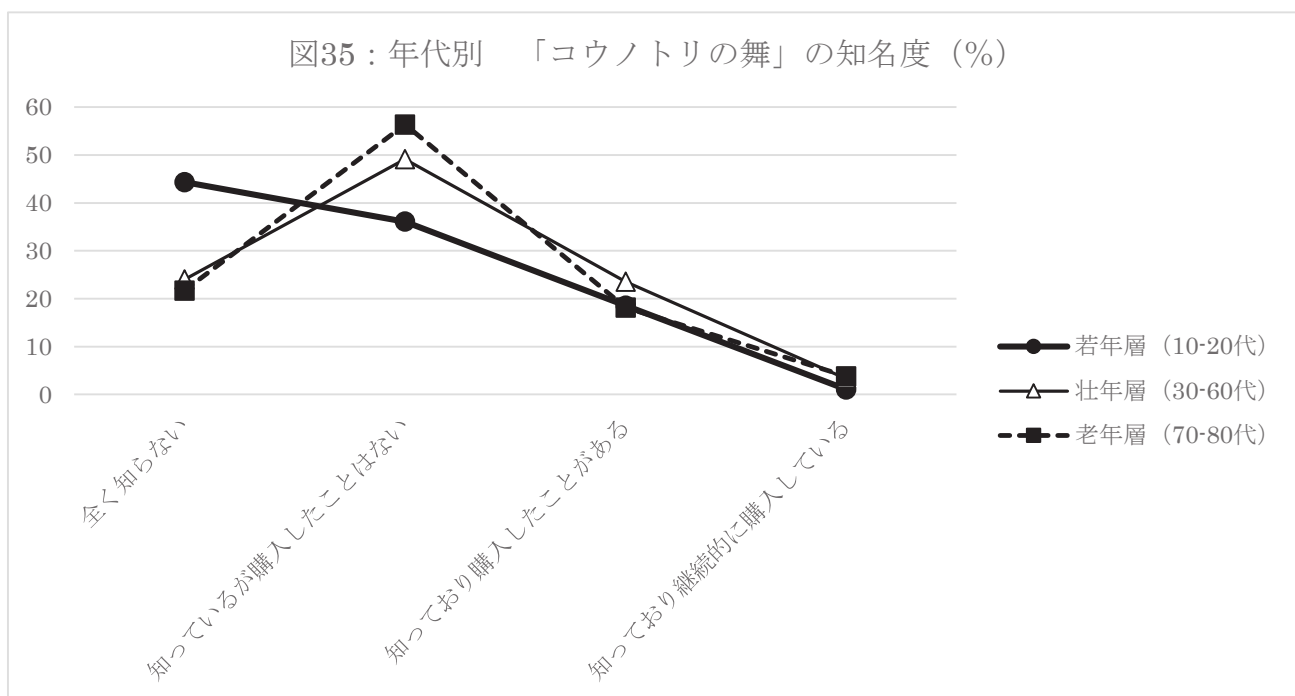
継続的な購入に至らない主な理由は、下図に見るとおり、「価格設定」、「販売店へのアクセス」、そして「商品の品目数」にあるようである【問35】。上で確認したように、安全な食品に対する市民の関心は低くないので、これらを改善することにより、『コウノトリの舞』がより広く流通することが期待できる。



「食の安全性への意識」(【問 33】無農薬・減農薬かどうかを意識する)を年代別にみると、若年層と非若年層で異なる傾向がみられ、若年層の方が意識が低いことが分かる。



『コウノトリの舞』の知名度に関しても、若年層の知名度が最も低くなっている。今後のマーケティング戦略においては、若年層の購買者にも注目する価値があろう。



また、男女間にも異なる傾向がみられ、「食の安全意識」においても『コウノトリの舞』の知名度においても、女性の方が統計的に有意に高いことが示された ($t=5.2$, $df=1125$, $p<0.01$; $t=4.9$, $df=1251$, $p<0.01$)。

3. 参考データ

【問1】あなたの性別は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	584	42.4	43.4	43.4
	女性	763	55.5	56.6	100.0
	合計	1347	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	29	2.1		
合計		1376	100.0		

【問2】あなたの年齢は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10代	20	1.5	1.5	1.5
	20代	79	5.7	5.9	7.4
	30代	117	8.5	8.7	16.1
	40代	171	12.4	12.7	28.8
	50代	237	17.2	17.6	46.4
	60代	312	22.7	23.2	69.6
	70代	253	18.4	18.8	88.4
	80代以上	156	11.3	11.6	100.0
	合計	1345	97.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	2.3		
合計		1376	100.0		

【問3】あなたの職業は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	会社員	317	23.0	24.1	24.1
	自営業	156	11.3	11.9	36.0
	公務員	70	5.1	5.3	41.3
	パート・アルバイト	146	10.6	11.1	52.4
	主婦	322	23.4	24.5	76.9
	学生	29	2.1	2.2	79.1
	NGO・NPO	2	.1	.2	79.3
	その他	272	19.8	20.7	100.0
	合計	1314	95.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	62	4.5		
合計		1376	100.0		

【問 4】あなたがお住いの小学校区は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	豊岡	169	12.3	12.5	12.5
	八条	76	5.5	5.6	18.2
	三江	52	3.8	3.9	22.0
	田鶴野	40	2.9	3.0	25.0
	五荘	153	11.1	11.4	36.4
	新田	49	3.6	3.6	40.0
	中筋	25	1.8	1.9	41.8
	奈佐	18	1.3	1.3	43.2
	港東	17	1.2	1.3	44.4
	港西	36	2.6	2.7	47.1
	神美	38	2.8	2.8	49.9
	城崎	53	3.9	3.9	53.9
	竹野	47	3.4	3.5	57.3
	中竹野	15	1.1	1.1	58.5
	竹野南	15	1.1	1.1	59.6
	府中	53	3.9	3.9	63.5
	八代	15	1.1	1.1	64.6
	日高	114	8.3	8.5	73.1
	静修	12	.9	.9	74.0
	三方	60	4.4	4.5	78.4
	清滝	42	3.1	3.1	81.5
	弘道	71	5.2	5.3	86.8
	福住	35	2.5	2.6	89.4
	寺坂	9	.7	.7	90.1
	小坂	37	2.7	2.7	92.8
	小野	9	.7	.7	93.5
	合橋	39	2.8	2.9	96.4
	高橋	21	1.5	1.6	97.9
	資母	28	2.0	2.1	100.0
	合計	1348	98.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	28	2.0		
合計		1376	100.0		

【問5】あなたの同居家族の構成は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ひとり暮らし	125	9.1	9.5	9.5
	夫婦のみ	305	22.2	23.1	32.6
	夫婦と子ども	303	22.0	22.9	55.5
	父または母親と子ども	68	4.9	5.1	60.6
	二世代家族	158	11.5	12.0	72.6
	三世代家族	218	15.8	16.5	89.1
	その他	145	10.5	11.0	100.0
	合計	1322	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	54	3.9		
合計		1376	100.0		

【問5】小学生以下の子どもの数は？（人）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	108	7.8	40.3	40.3
	2	87	6.3	32.5	72.8
	3	47	3.4	17.5	90.3
	4	15	1.1	5.6	95.9
	5	6	.4	2.2	98.1
	6	2	.1	.7	98.9
	8	2	.1	.7	99.6
	9	1	.1	.4	100.0
	合計	268	19.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	1108	80.5		
合計		1362	1108		

【問6】あなたの区では、災害時に、被害を軽減するために

「住民同士の助け合い行動ができる」と思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	37	2.7	2.7	2.7
	思わない	147	10.7	10.8	13.6
	分らない	423	30.7	31.2	44.8
	思う	712	51.7	52.5	97.3
	とてもそう思う	37	2.7	2.7	100.0
	合計	1356	98.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	20	1.5		
合計		1376	100.0		

【問7】あなたは区で開催される防災訓練

(消火器取扱い訓練、避難訓練、救命講習など)に参加したことがありますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	ほぼ毎回	182	13.2	13.4	13.4
	ときどき	211	15.3	15.5	28.9
	少なくとも一度	373	27.1	27.4	56.4
	一度もない	462	33.6	34.0	90.4
	訓練を行っていない	131	9.5	9.6	100.0
	合計	1359	98.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	17	1.2		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

A 消火器を設置している(最寄りの設置場所を知っている)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	999	72.6	99.9	99.9
	はい	1	.1	.1	100.0
	合計	1000	72.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	376	27.3		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

B 住宅火災警報器を設置している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	4	.3	.4	.4
	はい	1137	82.6	99.6	100.0
	合計	1141	82.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	235	17.1		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

C 非常持出し袋を準備している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	296	21.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1080	78.5		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

D 家具の転倒防止を施している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	227	16.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1149	83.5		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

E 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	134	9.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1242	90.3		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

F 最寄りの避難場所を確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	864	62.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	512	37.2		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

G 避難ルートを確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	456	33.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	920	66.9		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

H 有事の際、助けが必要な(または自分を助けてくれる)近所の人の存在を認識している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	461	33.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	915	66.5		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

I 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている(避難場所や連絡の方法など)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	320	23.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1056	76.7		
合計		1376	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？ J その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1	.1	3.8	3.8
	はい	25	1.8	96.2	100.0
	合計	26	1.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	1350	98.1		
合計		1376	100.0		

【問 9】あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	60	4.4	4.4	4.4
	思わない	464	33.7	34.3	38.8
	思う	775	56.3	57.3	96.1
	とても思う	53	3.9	3.9	100.0
	合計	1352	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	24	1.7		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

A 食生活に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	982	71.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	394	28.6		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

B 虫歯や歯周病にならないよう歯の健康に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	556	40.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	820	59.6		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

C 睡眠や休養を十分にとる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	879	63.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	497	36.1		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

D 適正体重を認識し体重をコントロールしている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	508	36.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	868	63.1		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

E 定期的に健康管理や健康診断を受診する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	792	57.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	584	42.4		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

F 運動やスポーツなど積極的に体を動かす

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	389	28.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	987	71.7		
合計		1376	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

G 健康についての知識や情報を得る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	475	34.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	901	65.5		
合計		1376	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

H 趣味や旅行など生きがい（楽しみ）を持つ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	615	44.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	761	55.3		
合計		1376	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

I ボランティア活動や地域の活動に参加する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	227	16.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1149	83.5		
合計		1376	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

J 何もしていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	90	6.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1286	93.5		
合計		1376	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

K その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	37	2.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1339	97.3		
合計		1376	100.0		

【問 1 1】あなたは健康維持・増進のために運動（1日30分以上）をしていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ほぼ毎日	222	16.1	16.4	16.4
	週3日以上	176	12.8	13.0	29.4
	週2日	165	12.0	12.2	41.6
	週1日以下	183	13.3	13.5	55.1
	していない	608	44.2	44.9	100.0
	合計	1354	98.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	22	1.6		
合計		1376	100.0		

【問 1 2】【問 1 1】の回答で①～④の方にお尋ねします。

その運動はどのくらい継続されていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1年以上	492	35.8	69.6	69.7
	半年～1年未満	66	4.8	9.3	79.1
	3か月～半年	54	3.9	7.6	86.7
	3か月未満	94	6.8	13.3	100.0
	合計	707	51.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	669	48.6		
合計		1376	100.0		

【問 1 3】あなたは一緒に健康づくりをする仲間がいますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	たくさんいる	60	4.4	4.7	4.7
	まあまあいる	301	21.9	23.5	28.1
	どちらとも言えない	196	14.2	15.3	43.4
	あまりいない	374	27.2	29.2	72.6
	全くいない	352	25.6	27.4	100.0
	合計	1283	93.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	93	6.8		
合計		1376	100.0		

**【問１４】 運動ができる公園や健康増進施設など、
身近なところで健康づくりのできる環境が整っていると思いますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	111	8.1	8.5	8.5
	思わない	473	34.4	36.1	44.6
	分からない	320	23.3	24.4	69.1
	思う	385	28.0	29.4	98.5
	とてもそう思う	20	1.5	1.5	100.0
	合計	1309	95.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	67	4.9		
合計		1376	100.0		

【問１５】 豊岡市は、環境に優しいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	32	2.3	2.4	2.4
	思わない	185	13.4	14.0	16.4
	分からない	598	43.5	45.2	61.6
	思う	495	36.0	37.4	98.9
	とてもそう思う	14	1.0	1.1	100.0
	合計	1324	96.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	52	3.8		
合計		1376	100.0		

【問１６】 豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきていると思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	204	14.8	15.3	15.3
	思わない	579	42.1	43.4	58.7
	分からない	467	33.9	35.0	93.7
	思う	83	6.0	6.2	99.9
	とてもそう思う	1	.1	.1	100.0
	合計	1334	96.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	42	3.1		
合計		1376	100.0		

【問１７】日常生活で省エネを意識していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	14	1.0	1.0	1.0
	思わない	162	11.8	12.1	13.2
	分からない	98	7.1	7.3	20.5
	思う	985	71.6	73.7	94.2
	とてもそう思う	77	5.6	5.8	100.0
	合計	1336	97.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	40	2.9		
合計		1376	100.0		

【問１８】日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	27	2.0	2.0	2.0
	思わない	344	25.0	25.9	27.9
	分からない	317	23.0	23.9	51.8
	思う	610	44.3	45.9	97.7
	とてもそう思う	30	2.2	2.3	100.0
	合計	1328	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	48	3.5		
合計		1376	100.0		

【問１９】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、
豊岡市の経済にもプラスになると感じますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	29	2.1	2.2	2.2
	思わない	132	9.6	9.9	12.1
	分からない	496	36.0	37.2	49.2
	思う	635	46.1	47.6	96.8
	とてもそう思う	43	3.1	3.2	100.0
	合計	1335	97.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	3.0		
合計		1376	100.0		

【問２０】豊岡市は、国内外から人が集まる、賑わい活気にあふれたまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	100	7.3	7.7	7.7
	思わない	625	45.4	48.2	55.9
	分からない	348	25.3	26.8	82.7
	思う	219	15.9	16.9	99.5
	とてもそう思う	6	.4	.5	100.0
	合計	1298	94.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	78	5.7		
合計		1376	100.0		

【問２１】あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	20	1.5	1.5	1.5
	思わない	191	13.9	14.7	16.2
	分からない	231	16.8	17.7	33.9
	思う	752	54.7	57.8	91.7
	とてもそう思う	108	7.8	8.3	100.0
	合計	1302	94.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	74	5.4		
合計		1376	100.0		

【問２２】市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	24	1.7	1.9	1.9
	思わない	202	14.7	15.7	17.6
	分からない	341	24.8	26.6	44.2
	思う	661	48.0	51.5	95.7
	とてもそう思う	55	4.0	4.3	100.0
	合計	1283	93.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	93	6.8		
合計		1376	100.0		

**【問２３】 現在、仕事あるいはボランティアとして、
豊岡市を訪れる観光客への「おもてなし」活動に関わっていますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	49	3.6	3.8	3.8
	いいえ	1240	90.1	96.2	100.0
	合計	1289	93.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	87	6.3		
合計		1376	100.0		

**【問２３】 【「いいえ」と答えた方のみ】機会があれば、観光ボランティア・ガイドなどとして、
豊岡市の「おもてなし」に関わりたいと思いますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	93	6.8	7.8	7.8
	思わない	548	39.8	46.2	54.1
	分からない	346	25.1	29.2	83.3
	思う	188	13.7	15.9	99.2
	とてもそう思う	10	.7	.8	100.0
	合計	1185	86.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	191	13.9		
合計		1376	100.0		

【問２４】 豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？[最も魅力的]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	696	50.6	59.8	59.8
	城下町出石	60	4.4	5.2	65.0
	コウノトリ	183	13.3	15.7	80.7
	神鍋高原	17	1.2	1.5	82.2
	竹野海岸	23	1.7	2.0	84.2
	但東のチューリップ	14	1.0	1.2	85.4
	自然・景観	83	6.0	7.1	92.5
	松葉ガニ	54	3.9	4.6	97.2
	但馬牛	26	1.9	2.2	99.4
	その他	7	.5	.6	100.0
	合計	1163	84.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	213	15.5		
合計		1376	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？[2番目に魅力的]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	208	15.1	18.1	18.1
	城下町出石	275	20.0	23.9	42.0
	コウノトリ	196	14.2	17.0	59.0
	神鍋高原	80	5.8	7.0	66.0
	竹野海岸	68	4.9	5.9	71.9
	但東のチューリップ	14	1.0	1.2	73.1
	自然・景観	82	6.0	7.1	80.3
	松葉ガニ	149	10.8	13.0	93.2
	但馬牛	74	5.4	6.4	99.7
	その他	4	.3	.3	100.0
	合計	1150	83.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	226	16.4		
合計		1376	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？[3番目に魅力的]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	104	7.6	9.1	9.1
	城下町出石	163	11.8	14.3	23.5
	コウノトリ	197	14.3	17.3	40.8
	神鍋高原	96	7.0	8.4	49.3
	竹野海岸	113	8.2	9.9	59.2
	但東のチューリップ	20	1.5	1.8	60.9
	自然・景観	116	8.4	10.2	71.2
	松葉ガニ	185	13.4	16.3	87.4
	但馬牛	134	9.7	11.8	99.2
	その他	8	.6	.7	100.0
	合計	1137	82.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	239	17.4		
合計		1376	100.0		

【問２５】豊岡市の公共交通は便利だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	285	20.7	22.6	22.6
	思わない	644	46.8	51.0	73.6
	分からない	216	15.7	17.1	90.7
	思う	116	8.4	9.2	99.9
	とてもそう思う	1	.1	.1	100.0
	合計	1262	91.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	114	8.3		
合計		1376	100.0		

【問２６】日常生活で、公共交通を使うよう心がけていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	334	24.3	26.4	26.4
	していない	582	42.3	46.1	72.5
	どちらとも言えない	192	14.0	15.2	87.7
	いている	145	10.5	11.5	99.2
	大変している	10	.7	.8	100.0
	合計	1263	91.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	113	8.2		
合計		1376	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？[最も必要]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	635	46.1	54.4	54.4
	特急バス	49	3.6	4.2	58.6
	タクシー	50	3.6	4.3	62.9
	乗合タクシー	105	7.6	9.0	71.9
	鉄道	261	19.0	22.4	94.3
	飛行機	36	2.6	3.1	97.3
	その他	31	2.3	2.7	100.0
	合計	1167	84.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	209	15.2		
合計		1376	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？〔２番目に必要〕

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	207	15.0	19.2	19.3
	特急バス	151	11.0	14.0	33.3
	タクシー	194	14.1	18.0	51.3
	乗合タクシー	225	16.4	20.9	72.2
	鉄道	236	17.2	21.9	94.1
	飛行機	50	3.6	4.6	98.7
	その他	14	1.0	1.3	100.0
	合計	1078	78.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	298	21.7		
合計		1376	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？〔３番目に必要〕

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	128	9.3	13.1	13.1
	特急バス	148	10.8	15.1	28.2
	タクシー	233	16.9	23.8	52.1
	乗合タクシー	160	11.6	16.4	68.5
	鉄道	189	13.7	19.3	87.8
	飛行機	96	7.0	9.8	97.6
	その他	23	1.7	2.4	100.0
	合計	977	71.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	399	29.0		
合計		1376	100.0		

【問２８】ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きます。

(１) 大阪・神戸方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	鉄道	460	33.4	35.7	35.7
	バス	67	4.9	5.2	40.9
	自動車	742	53.9	57.5	98.4
	飛行機	6	.4	.5	98.8
	その他	15	1.1	1.2	100.0
	合計	1290	93.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	86	6.3		
合計		1376	100.0		

【問２８】ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きます。

(２) 東京方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	鉄道	903	65.6	72.1	72.1
	バス	21	1.5	1.7	73.8
	自動車	78	5.7	6.2	80.0
	飛行機	201	14.6	16.1	96.1
	その他	49	3.6	3.9	100.0
	合計	1252	91.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	124	9.0		
合計		1376	100.0		

【問２９】豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	72	5.2	5.5	5.5
	思わない	272	19.8	21.0	26.5
	分からない	625	45.4	48.2	74.7
	思う	319	23.2	24.6	99.2
	とてもそう思う	10	.7	.8	100.0
	合計	1298	94.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	78	5.7		
合計		1376	100.0		

**【問３０】現在、仕事またはボランティアとして、
子育てサポートや地域の子ども会イベントなどの活動に関わっていますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	189	13.7	14.8	14.8
	いいえ	1092	79.4	85.2	100.0
	合計	1281	93.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	95	6.9		
合計		1376	100.0		

【問３０】【「いいえ」と答えた方のみ】機会があれば、これらの活動に関わってみようと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	69	5.0	6.6	6.6
	思わない	353	25.7	33.6	40.2
	分からない	385	28.0	36.7	76.9
	思う	231	16.8	22.0	98.9
	とてもそう思う	12	.9	1.1	100.0
	合計	1050	76.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	326	23.7		
合計		1376	100.0		

【問３１】あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、市の子育て支援サービスを活用していますか？（現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	47	3.4	3.7	3.7
	していない	126	9.2	9.9	13.6
	分からない	786	57.1	61.9	75.5
	活用している	298	21.7	23.5	99.0
	頻繁に活用している	13	.9	1.0	100.0
	合計	1270	92.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	106	7.7		
合計		1376	100.0		

【問 3 2】 あなた自身、あるいはあなた周囲で子育てをしている方は、子育てを楽しんでいますか？

(現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	14	1.0	1.1	1.1
	思わない	84	6.1	6.6	7.7
	分からない	692	50.3	54.4	62.1
	思う	428	31.1	33.6	95.8
	とてもそう思う	54	3.9	4.2	100.0
	合計	1272	92.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	104	7.6		
合計		1376	100.0		

【問 33】 食品を購入するときなど、その食品や材料が無農薬・減農薬かどうかを意識しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く意識しない	42	3.1	3.2	3.2
	意識しない	238	17.3	18.2	21.4
	どちらとも言えない	303	22.0	23.2	44.6
	意識する	583	42.4	44.6	89.1
	とても意識する	142	10.3	10.9	100.0
	合計	1308	95.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	68	4.9		
合計		1376	100.0		

【問 34】 「コウノトリの舞」という農産物ブランドをご存知ですか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く知らない	325	23.6	24.9	24.9
	名前は知っているが購入したことはない	654	47.5	50.1	75.0
	知っており何度か購入したことがある	283	20.6	21.7	96.7
	知っており継続的に購入している	43	3.1	3.3	100.0
	合計	1305	94.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	71	5.2		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

A 価格が高いから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	455	33.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	921	66.9		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

B 食味が劣ると思うから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	38	2.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1338	97.2		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

C 欲しい農産物が無い（品目が少ない）から

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	222	16.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1154	83.9		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

D 販売している店が限られているから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	400	29.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	976	70.9		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

E 販売されている農産物を見かけないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	267	19.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1109	80.6		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

F 無農業・減農業に魅力を感じないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	30	2.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1346	97.8		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

G ブランド（生産地や生産方法等）は意識しないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	185	13.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1191	86.6		
合計		1376	100.0		

【問 35】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

H その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	107	7.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1269	92.2		
合計		1376	100.0		

4. テクニカル・ノート

4. 1 t 検定

分析対象となる変数がパラメトリック（データが、正規分布などの特定の分布に従っていると仮定する考え方）である場合に、ふたつのグループの平均値の差が、「単なる偶然」による差異ではない——即ち「統計的に有意な差」である——ことを確認するための検定方法を t 検定という。カイ 2 乗検定と同様に、「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的な有意差があるかどうかを判断するために、ふたつのグループのデータから「t 値」と呼ばれる指数と「自由度 (degree of freedom: df)」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。一般的に、「t 値」が十分大きい場合、ふたつのグループの平均値の差は「統計的に有意」になる。

4. 2 カイ 2 乗 (χ^2) 検定

分析対象となる変数がノンパラメトリック（データが、正規分布などの特定の分布に従っていることを前提としない考え方）である場合に、ふたつの変数の分布に違いがあるかどうかを検定する統計手法をカイ 2 乗検定という。カイ 2 乗値が十分に大きいと「ふたつの変数の間には違いがある」と考えられるが、その判断が統計的に妥当かどうかは、「統計的有意性」によって確認される。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的な有意差があるかどうかを判断するために、ふたつのグループのデータから「カイ 2 乗値」と呼ばれる指数と「自由度 (degree of freedom: df)」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。一般的に、「カイ 2 乗値」が十分大きい場合、ふたつの変数の違いは「統計的に有意」になる。

4. 3 相関分析

ふたつの連続変数 (* 1) の間に、単なる偶然ではない関係——即ち「統計的に有意な関係」——が存在するかどうかを確認するための分析手法を相関分析という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な分析結果」であると判断する。

また、相関関係の強さは「r」であらわされ、「相関関係が全く無い」ことを示す「 $r = 0$ 」から、「非常に強い関係がある」ことを示す「 $r = 1$ 」あるいは「 $r = -1$ 」までの値をとる。

「 $r = 0$ 」から「 $r = 1$ 」までの正の相関関係は、「一方が増えれば他方も増える」という比例的な関係をあらわし、「 $r = 0$ 」から「 $r = -1$ 」までの負の相関関係は、「一方が増えると他

方は減る」という反比例関係をあらわす。

通常、「r」が「0.7～1.0」程度であれば「強い相関関係」、「0.4～0.6」程度であれば「中程度の相関関係」、「0.3 以下」であれば「弱い相関関係」があると判断する。

r	-1 … -0.7 … -0.6 … -0.4 … -0.3 … 0 … 0.3 … 0.4 … 0.6 … 0.7 … 1.0
関係の強さ	(負)強い～～(負)中程度～～(負)弱い～～無関係～～(正)弱い～～(正)中程度～～(正)強い

(＊１)身長や体重のように、連続した数値で計測できる変数を連続変数と呼ぶ。データの分散上の特性から、例えば、男女を {0, 1} であらわすような変数（ダミー変数、二値変数と呼ぶ）とは区別される。本報告書で行った相関分析（ピアソンの相関分析）は連続変数に対する分析手法である。

4. 4 回帰分析

関心の対象となる変数を目的変数（従属変数：例「育児満足度」）として設定し、その目的変数に影響を与える要因と考えられる説明変数（独立変数：例「子育て支援サービスの活用」、「子育てボランティアへの関心」）を１つ以上選定して、目的変数（従属変数）と説明変数（独立変数）のあいだの関係を分析する手法を回帰分析という。分析結果に示されている主な指標の意味と役割は以下のとおりである。

- F 値：従属変数と独立変数で構成されるモデル全体が、統計的に有意であるか否かを判断するための指数。括弧内は自由度と呼ばれる値で、F 値と自由度の情報からモデルの有意性を判断する。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（p）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な分析結果」とであると判断する。
- R² 値：モデルの説明力を示す指数で、0 から 1 までの値をとる。1 に近いほど説明力が高い。
- 非標準化係数：各独立変数に付随する係数で、回帰係数と呼ばれる。この係数の大きさが、その独立変数と従属変数の関連性の強さをあらわし、絶対値が大きいほど強い関連性があることを意味する。正の係数は、独立変数と従属変数が「正の相関」にあることを意味し、負の係数は「負の相関」にあることを意味する（「4. 3 相関分析」参照）。また、各係数に「有意水準（p）」が付されており、統計的有意性が認められない係数については、その数値の大きさによらず、解釈の対象にはならない。
- 標準誤差：推定値（回帰係数）の精度をはかる指標のひとつ。推定値のばらつきの程度をあらわす。この値が小さいほどばらつきが小さく、精度が高い。
- 標準化係数：「非標準化係数」を標準化したもの。単位の異なる複数の独立変数（例「年収（円）」、「体重（kg）」）をひとつのモデルに投入した場合、非標準化係数でこれらの独立変数の影響力を比較することはできないが、標準化係数に注目すれば、「従属変数に対して、どの独立変数の影響力が最も大きいのか、小さいか」といった、独立変数間の比較が可能になる。ただし、この場合も統計的有意性が認められない——即ち p の値が 0.05 よりも大きい——独立変数の解釈や比較はできないので注意が必要である。